

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 健康福祉部 高齢福祉課

2. 指定管理施設概要

Table with 3 columns: 施設名, 名称, 所在地, 指定管理者, 名称, 代表者名, 住所, 指定期間, 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日, 5年間, 選定方法, 非公募, 評価実施年, 5年間のうち4年目, 施設設置目的, 介護が必要な在宅の高齢者等に対し通所又は訪問による介護サービス等を提供することにより、高齢者等の日常生活における自立の支援及び孤立感の解消、その家族の身体的又は精神的な負担の軽減等を図り、もって地域における高齢者等及びその家族の福祉の増進を目的として、設置する。, 主な実施事業, (1) デイサービスセンター ア 介護保険法第8条第17項に規定する地域密着型通所介護 イ 介護保険法第115条の45第1項第1号ロに規定する第1号通所事業 ウ 介護予防に関する事業 (2) ヘルパーステーション ア 介護保険法第8条第2項に規定する訪問介護 イ 介護保険法第115条の45第1項第1号イに規定する第1号訪問事業

3. 利用状況(目標と実績)

Table with 12 columns: 成果指標, 単位, 平成26年度(目標, 実績), 平成27年度(目標, 実績), 平成28年度(目標, 実績), 平成29年度(目標, 実績), 平成〇〇年度(目標, 実績). Rows include utilization expansion, service quality, and financial metrics.

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

Table with 6 columns: 区分, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度. Rows include income (A), expenses (B), and ratios (A-B, D/B, E/B).

※着色セルは、自動計算としている。

Table with 2 columns: 補足説明, (blank)

サービス改善の状況

運営推進会議の実施により、客観的評価を関係機関から受け当該事業運営の特性と課題を把握し、サービスの向上に繋げることができた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
	法令遵守等	外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	個人情報保護	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
		個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
	情報公開	個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
		情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
業務日誌等を適切に整備、保管している。		B	B	
連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
総括	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	<b>「業務の実施体制」に関する評価【17項目】</b>		B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	A
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
総括	利用実績は、目標水準である。	A	A	
	<b>「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】</b>		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	<b>「経費の収支等」に関する評価【4項目】</b>		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	介護保険事業として関係法令に遵守し、地域に根ざした利用者本位のサービス提供が実施できました。小規模型の特徴を活かし、家庭的な雰囲気の中で、利用者へのきめ細かな介護・機能訓練サービスはもちろんの事、地域交流の企画など地域における高齢者等及びその家族の福祉の増進を目的とした施設提供の実施が図れました。その一方、従業員の人材確保に困難を要し事業計画に即した人員体制整備の提供ができず、課題が残る形となりました。			
	(所管課評価)			
	地域雇用には努力はみられたが地理的に特殊な地域であり計画に即する結果がだせなかった。 今後は、地域住民や関係機関と連携した地域課題として、指定管理事業者からの積極的な提案を期待する。これからも、きめ細やかな利用者への配慮や家庭的な雰囲気、サービスの向上、社会福祉法人としての公正かつ透明性の高い経営に期待したい。			
前年度総合評価 ※5段階評価	B		総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	= 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	= 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好)	= A、C以外
	C(要改善)	= 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。					
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。					
総括評価	A(優良)	= 評価項目のうち、A判定が80%以上			
	B(良好)	= A、C以外			
	C(要改善)	= 評価項目のうち、C判定が20%以上			